

質問

山鳥坂ダム、鹿野川ダム、野村ダムの洪水調節効果について教えてください。

◆回答

肱川においては、甚大な被害の発生した平成30年7月洪水の基準点大洲における流量規模は、ダムによる洪水貯留をせず、また氾濫がなかった場合に $6,200\text{m}^3/\text{s}$ 程度と推定されます。このため、目標流量は基準点大洲において $6,200\text{m}^3/\text{s}$ とし、このうち流域内の洪水調節施設（ダム）により $1,600\text{m}^3/\text{s}$ を調節し、河道への配分流量を $4,600\text{m}^3/\text{s}$ とします。これにより、平成30年7月と同規模の洪水が発生しても災害の発生の防止又は軽減を図ります。

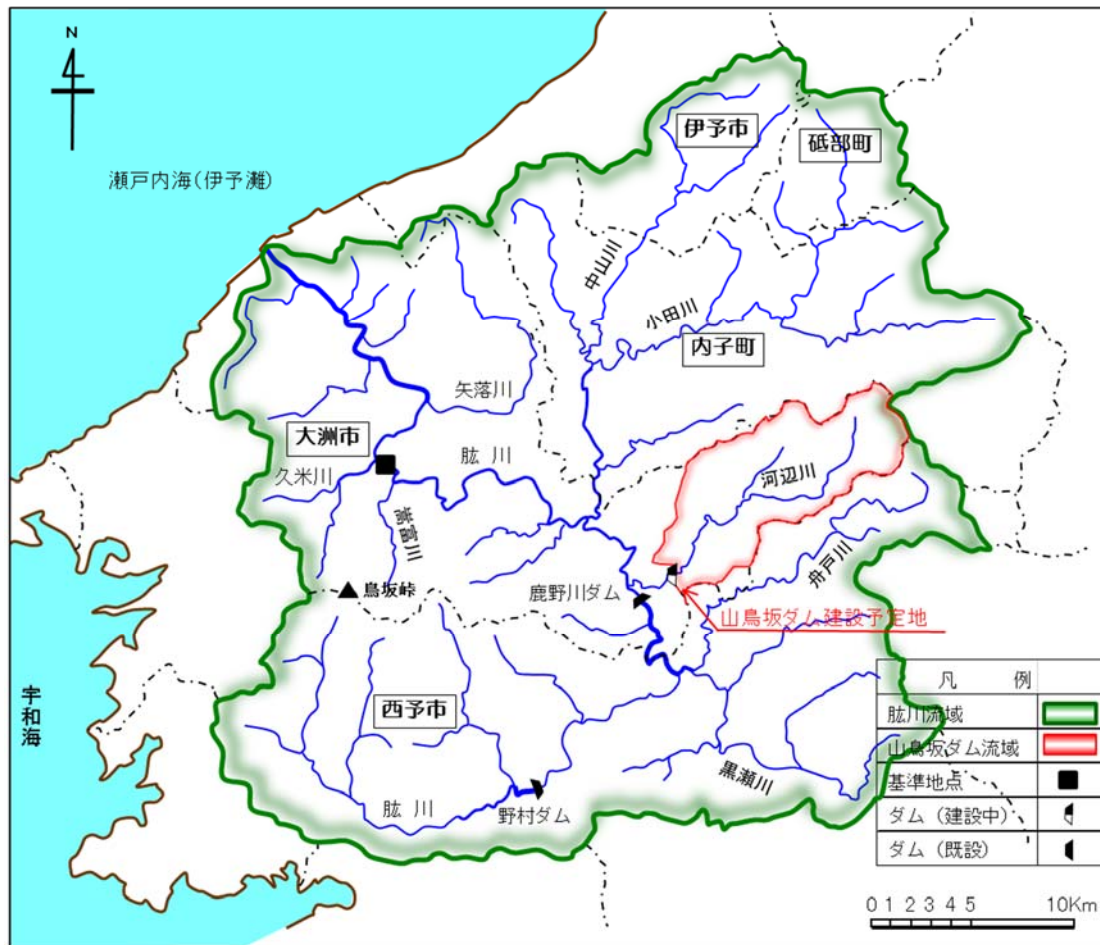


図 山鳥坂ダムの集水区域

◆毎秒 00m^3 とは

1秒間に川を流れる水量を表しています。例えば、毎秒 360m^3 とは、25mプール（長さ25m×幅12m×深さ1.2m）が1秒間でいっぱいになる水量を意味します。